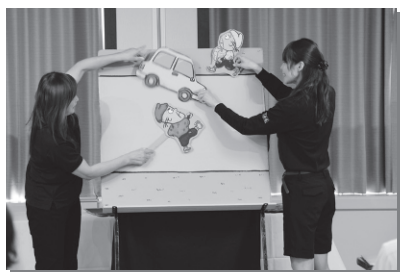


News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



平成24年度全国自作視聴覚教材コンクール
入賞作品発表会の様子から

■平成25年度全国自作視聴覚教材コンクール募集

日本視聴覚教育協会主催、日本学校視聴覚教育連盟・全国高等学校メディア教育研究協議会・全国視聴覚教育連盟共催、文部科学省後援による第40回の標記コンクールでは、学校教育や社会教育において、個々の学習者の実態に応じた教材、組織的に収集・構成された教材など、実際に役立つ自作視聴覚教材を募集する。応募要項は、本誌26・27頁を参照のこと。

協会情報

■「平成25年度教育映像祭優秀映像教材選奨」 募集開始

日本視聴覚教育協会主催による標記選奨は「教育に利用される映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に開催される。

小学校（幼稚園含）、中学校、高等学校部門においては、【教育映像】（映画・DVD）及び【教育映像コンテンツ】（コンピュータソフトウェア）の別により審査を行う。社会教育部門、職能教育部門、児童劇・動画部門、教養部門は、【教育映像】のみとする。

〈部門〉

1. 小学校（幼稚園含）部門
【教育映像】・【教育映像コンテンツ】
2. 中学校部門
【教育映像】・【教育映像コンテンツ】
3. 高等学校部門
【教育映像】・【教育映像コンテンツ】

4. 社会教育部門
【教育映像】（家庭生活向・市民生活向）
5. 職能教育部門
【教育映像】
6. 児童劇・動画部門
【教育映像】
7. 教養部門
【教育映像】

※1社の参加本数は、【教育映像】は制限なし。【教育映像コンテンツ】は、それぞれ3本以内。

〈参加資格（各部門共通）〉平成24年6月1日～平成25年5月31日までに完成し、一般に市販されるもの。

〈表彰（各部門共通）〉○最優秀作品賞（文部科学大臣賞、日本視聴覚教育協会会長賞）○優秀作品賞（日本視聴覚教育協会会長賞）

〈締切〉平成25年6月3日（月）までに、出品申込書と併せて、作品を申し込むこと。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.javea.or.jp/festival/index.html>
〈問い合わせ先〉（一財）日本視聴覚教育協会
TEL 03-3591-2186

トピックス

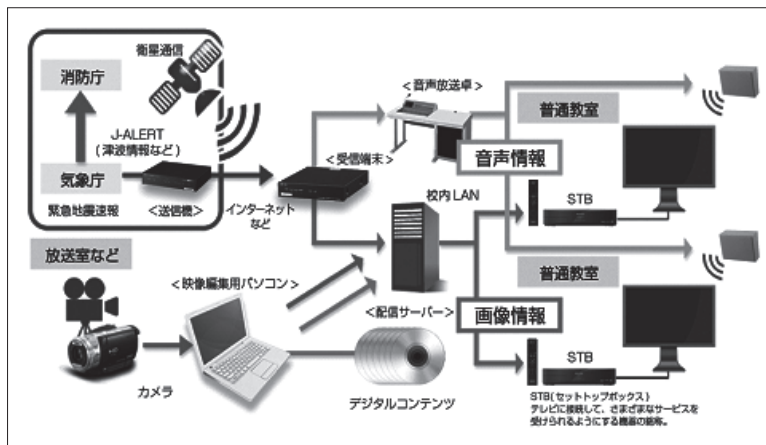
校内情報配信システム「みらいスクールステーション」

富士ソフト(株)では、デジタルテレビと校内LANを活用し、教材などのコンテンツやビデオカメラで撮影した映像を学校内に配信する標記システムを販売している。このシステムは、コンテンツをサーバ上にアップし、校内LANから各教室のデジタルテレビに配信し、教室でSTB(セットトップボックス)とリモコンを使用することで、教室での視聴を可能にしている(資料)。

主な特長は、教材のコンテンツ配信、映像のライブ配信、緊急地震速報やJ-ALERTの配信、電子掲示板としての利用、電子黒板としての利用等。

詳細は、<http://www.fsi.co.jp/solution/education/>を参照のこと。

資料・みらいスクールステーションの構成図



〈価格〉 導入規模に応じて個別見積

〈問い合わせ〉 富士ソフト(株)

TEL 0120-964-529 (平日9:00~18:00まで)

AV情報

■ 第67回NHK放送技術研究所公開

NHK放送技術研究所は「期待、見たい、感じたい 技研公開2013」をテーマに研究所を公開する。

〈日時〉平成25年5月30日(木)~6月2日(日)
10:00~17:00(入場は終了30分前まで)

〈会場〉東京都世田谷区砧1-10-11

〈内容〉放送通信連携サービス実現するためのシステム「ハイブリッドキャスト」、次世代の高臨場感放送をめざした「スーパーハイビジョン」を中心に約35の研究成果を展示。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.nhk.or.jp/str/>
〈問い合わせ先〉NHK放送技術研究所
TEL 03-5494-1125

■ 「第54回科学技術映像祭」入選作品決定・上映

科学技術映像祭((公財)日本科学技術振興財団他)は、科学技術の普及と向上を図ることを目的に標記映像祭を実施し、以下のような入賞作品を決定した。内閣総理大臣賞(自然・くらし部門)「NHKスペシャル 大海原の決闘!クジラ対シャ

チ」(日本放送協会企画・(株)NHKエンタープライズ制作)他。なお、全国13都市の科学館で入選作品上映会が開催される。詳細は、下記を参照のこと。<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

〈問い合わせ先〉科学技術映像祭事務局(公財)日本科学技術振興財団 振興事業部

TEL 03-3212-8487

■ New Education Expo 2013

New Education Expo 2013実行委員会((株)内田洋行他)主催により標記セミナーが開催される。〈日程〉平成25年6月6日(木)~8日(土)(東京会場)、6月21日(金)・22日(土)(大阪会場)〈会場〉東京ファッションタウン(東京都江東区有明3)、大阪マーチャングイズ・マート(大阪府中央区大手前1-7-31)※東京会場の映像と音声を繋ぎ、その模様を、札幌・福岡の会場で上映する。〈内容〉教育業界における最新のトレンドと教育現場の活用事例をテーマの中心とした講演、実践事例発表、展示会など。詳細は、下記を参照のこと。<http://edu-expo.org/>

〈問い合わせ先〉New Education Expo実行委員会事務局(株)内田洋行教育総合研究所内

TEL 03-5634-6397

研究会情報

■ 教育システム情報学会2013年度第1回研究会

教育システム情報学会では、「eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／医療・看護・福祉分野におけるICT利用教育／一般」をテーマに標記研究会を開催する。

〈日程〉平成25年5月18日（土）

〈会場〉放送大学（千葉県美浜区若葉2-11）

〈内容〉企業や大学における人材開発や組織マネジメントとの連携、学習コンテンツ設計、インストラクショナルデザインやeラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境、著作権処理等、専門職教育に必要な知識や技能習得のためのICT活用について。詳細は、下記を参照のこと。
http://www.jsise.org/society/committee/2013/CFP_1st.html

〈問い合わせ先〉千葉工業大学情報科学部情報ネットワーク学科仲林 MAIL knaka@net.it-chiba.ac.jp

コンクール情報

■ 映文連アワード2013

短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能を発掘することを目的に、(公社)映像文化製作者連盟主催による標記アワードでは作品を募集している。

〈応募要件〉平成24年4月1日～平成25年3月31日までに完成した作品。作品上映時間は原則として60分以内。メディア・手法は、映画・ビデオ、TV番組、アニメーション、CG、Web動画、展示映像、モバイル。詳細は、下記を参照のこと。
<http://www.eibunren.or.jp/top/eibunren-award2013.html>

〈賞〉○大賞 最優秀作品賞（グランプリ）、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞 各1点○部門優秀賞等。

〈締切〉平成25年5月31日（金）（消印有効）

〈問い合わせ先〉(公社)映像文化製作者連盟

TEL 03-3662-0236

文部科学省選定作品

■ 3月選定 〔紙〕紙しばい／〔E〕ビデオ／〔D〕DVD

特選「僕のうしろに道はできる—奇跡が奇跡でなくなる日に向かって—」〔D〕92分〈少年・青年・成人、教養〉特定非営利活動法人ハートオブミラクル

『『ネットワーク社会の情報モラル—情報安全教育—』第1巻 情報セキュリティネットワークの身近な危険性と安全対策—〕〔D〕24分、『『同』第2巻 情報モラル—変わりゆくネットワーク社会のルールとマナー—』〔D〕23分〈中学校、技術・家庭・高等学校、情報／青年、国民生活（メディア）〉(株)パンドラ

「原付・自動二輪車ライダーへ 防ごう！バイク事故—事故に学ぶ安全運転のポイント—」〔D〕23分〈青年・成人、地域社会生活（交通安全・防犯）〉(有)斉藤プロダクション

「地震！津波！火災！ 災害時、ドライバーはどう生き残るか—忘れない！東日本大震災が教えてくれた事—」〔D〕28分〈青年・成人、地域社会生活（災害予防・対策）〉(有)斉藤プロダクション

「家庭の中の人権 生まれ来る子へ」〔D〕25分〈青年・成人、地域社会生活（人権）〉東映(株)

放送番組

「ティーンズプロジェクト フレ☆フレ」

Eテレ（金）18:55～19:25 再放送（土）12:00～12:30※都合により番組内容変更有。
〈5月のテーマから〉○「島からチャンピオンに！女子高生プロサーファー」番組詳細は、下記を参照のこと。
<http://www.nhk.or.jp/teens/index.html>

短信

■平成25年4月1日付けで、シャープシステムプロダクト株式会社とシャープドキュメントシステム株式会社は再編・統合し、新たにシャープビジネスソリューション株式会社として発足した。

訃報

元神田外語大学教授、元財団法人日本視聴覚教育協会評議員の沼野一男氏が3月24日ご逝去された。享年90歳。